

3月定例会の概要	2
議決議案・議案賛否	3
一般質問（10人登壇）	4
議案審議	14
予算特別委員会	15
常任委員会活動報告	18
議会改革特別委員会	18
議員全員協議会	19
議会の動き	20



# かまいし 市議会だより

令和3年

3月定例会

No. 164



提供：小笠原 大介様（大畑の一本桜）



## 3月定例会の概要

# 復興予算編成から通常予算編成へ

## 釜石医療圏の脆弱化を懸念

3月定例会は、3月1日から3月18日まで、18日間の会期で開催しました。

初日には、施政方針演説と教育行政方針演説が行われ、9日からの一般質問には10人が登壇し、市政課題について議論を交わしました。

15日には、予算特別委員会を設置し、18日まで令和3年度一般会計予算、国民健康保険事業特別会計予算など12件について審査を行いました。

今定例会に提出された市長提出議案43件について、全て原案のとおり可決、承認、同意しました。なお、委員会提出議案1件は原案のとおり可決となりました。

請願2件については民生常任委員会で継続審査となりました。

3月定例会に提案された

令和3年度一般会計予算は

約205億円で、その中で

も東日本大震災からの復

旧・復興に係る予算は約6

億5千万円となっています。

新年度予算の特筆すべき点

は、地域おこし協力隊制度

の積極的活用にあります。

同制度は、官民連携による

人材還流や地域の自治力向

上、市内企業等の成長を促

進することを目的としてい

ます。この制度の活用によ

る、人口減少・少子高齢化

等の社会課題の解決に期待

をしています。

また、未だ収束の兆しが

見えない新型コロナウイルス

又感染症対策についても多

額の予算を計上しています。

小売店や飲食店等への経済

的支援、落ち込んだ地域内

消費を喚起するためのエー

ル券事業、感染拡大防止の

ためのサポート活動などが

挙げられます。

本年は、東日本大震災か

ら10年という節目を迎えた

だけでなく、4月からは第

六次総合計画がスタートし

ています。当局は、複雑化

している地域課題の解消や、

社会情勢の変化等に対応す

るために、復旧・復興の過

程で得られたつながりや絆

をまちづくりを生かしてい

くとのこと。

### 県立釜石病院

今定例会会期中、県医療

局より県立釜石病院におけ

る分娩機能を本年10月から

休止し、県立大船渡病院に

集約する方針が公表されま

した。突然の公表に議員か

らは、震災から10年、復興

を目指し必死に取り組んできたこのタイミングでの休止はなぜかとの驚きと怒りの意見や、市内で子供を産めない環境では、推進してきた移住定住対策や少子化対策等に与える影響が大きいことを危惧する意見も出され、分娩機能の継続を釜石医療圏が一丸となり訴えるべきとの発言がありました。また、県との連携を図りながら、市独自の医師確保についても積極的に進めるべきとの提言がありました。

市長からは「県医療局に対して休止に至った経緯と理由を伺い、その上で改善できるものを取り組むべきものを整理し協議しながら、市内で子供を産める環境の構築を目指したい」との答弁がありました。医師確保は、市民の医療を守り、かつ、復興からのまちづくりの最重要課題であることから早急な対応が求められる。

# 議 決 議 案

議案番号	議 案 名	審議結果	
報告第1号	唐丹小白浜地区漁具置場整備工事の変更請負契約の締結に関する専決処分の報告について		
第1号	釜石市役所出張所設置条例等の一部を改正する条例の専決処分に申し承認を求めることについて	承認	全員
第2号	釜石市国民健康保険条例等の一部を改正する条例の専決処分に申し承認を求めることについて	承認	全員
第3号	令和2年度釜石市一般会計補正予算(第10号)の専決処分の承認を求めることについて	承認	全員
第4号	令和2年度釜石市一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認を求めることについて	承認	全員
第5号	令和2年度釜石市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて	承認	全員
第6号	釜石市すこやか子育て基金条例	可決	全員
第7号	釜石市根浜海岸管理条例	可決	全員
第8号	釜石市手数料条例の一部を改正する条例	可決	全員
第9号	釜石市立集会所条例の一部を改正する条例	可決	全員
第10号	釜石市敬老祝金条例の一部を改正する条例	可決	全員
第11号	釜石市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	全員
第12号	釜石都市計画下水道事業受益者負担条例の一部を改正する条例	可決	全員
第13号	釜石市ラグビーこども未来基金条例の一部を改正する条例	可決	全員
第14号	釜石市土地開発基金条例及び釜石市土地開発基金管理委員会条例を廃止する条例	可決	全員
第15号	釜石市農業集落排水事業分担金条例等を廃止する条例	可決	全員
第16号	令和2年度釜石市一般会計補正予算(第12号)	可決	全員
第17号	令和2年度釜石市魚市場事業特別会計補正予算(第3号)	可決	全員
第18号	令和3年度釜石市一般会計予算	可決	全員
第19号	令和3年度釜石市国民健康保険事業特別会計予算	可決	全員
議 案	第20号 令和3年度釜石市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	全員
	第21号 令和3年度釜石市介護保険事業特別会計予算	可決	全員
	第22号 令和3年度釜石市魚市場事業特別会計予算	可決	全員
	第23号 令和3年度釜石市水道事業会計予算	可決	全員
	第24号 令和3年度釜石市公共下水道事業会計予算	可決	全員
	第25号 令和3年度釜石市漁業集落排水事業会計予算	可決	全員
	第26号 平成30年度平田漁港海岸災害復旧工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第27号 第六次釜石市総合計画基本構想の策定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第28号 釜石市甲子林業センターの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第29号 釜石市栗橋地区基幹集落センターの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第30号 釜石市橋野地区多目的集会所施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第31号 大橋地区コミュニティ消防センターの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第32号 野田地区コミュニティ消防センターの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第33号 洞関地区コミュニティ消防センターの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第34号 一の渡地区コミュニティ消防センターの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第35号 大松地区コミュニティ消防センターの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第36号 松原地区コミュニティ消防センターの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第37号 松倉地区コミュニティ消防センターの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第38号 中妻北地区コミュニティ消防センターの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第39号 市道路線の廃止に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第40号 市道路線の認定に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第41号 市道路線の変更に關し議決を求めることについて	可決	全員
	第42号 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同意	全員
	第43号 釜石市副市長の選任に関し同意を求めることについて	同意	全員
委員会提出 議案第1号	釜石市議会会議規則の一部を改正する規則について	可決	全員

## ■□議案の賛否

賛否が分かれた議案はありません。





遠藤 幸徳

(清和クラブ)

## 質問項目

- ・水産行政について
- ・福祉行政について

## 魚市場の生き残りを賭けた施策とは

## 新たな経営戦略の事業推進

**議員** 公設民営の釜石市魚市場の生き残りを賭けた「経営改善計画」を示すべきと思うが所見は。

**市長** 国が示す公営企業の経営健全化の各種指標に基づき、令和3年度から令和12年度まで10年間の魚市場を取り巻く将来の事業環境を見通し、経営の基本方針や収支のあり方などをまとめた「地方卸売市場釜石市魚市場経営戦略」を、先般市議会議員全員協議会で示してきた。本経営戦略は、「魚河岸魚市場と新浜町魚市場の2場体制での水揚げ機能分担」、「高度衛生管理

型魚市場を活かした食の安心・安全を重視した体制づくり」及び「公設民営方式による官民連携体制の維持と更なる経営基盤の強化」を経営の基本方針とし、効率的な市場運営に努め、経営の健全化を図りながら、地域経済活動を支える重要な市場機能を安定的に確保して、3年から5年を目標に見直しや更新の作業を行い、水産物供給の重要な機能である魚市場の持続的な運営に努める。本経営戦略の推進にあたっては、岩手県漁連、市漁連、各漁協、買受人、水産加工事業者な

ど水産関係者、学識経験者及び消費者で構成する「地方卸売市場釜石市魚市場運営協議会」において評価検証し、不断の見直しによる運営体制の改善や経営の健全化に努め、社会情勢や魚市場を取り巻く環境の変化に適切に対応し、魅力ある三陸の水産物供給機能を確保し事業を推進する。

## 帯状疱疹ワクチンの費用助成は

**議員** 任意接種となっている帯状疱疹ワクチン接種を定期接種と位置づけ、費用

助成の対象とすべきと考えるが所見は。

**保健福祉部長** 帯状疱疹ワクチンは、予防接種法のなかでは任意接種に位置付けられている。帯状疱疹ワクチンは、自分が病気にかかることを防ぐために実施するもので、インフルエンザなどの社会にまん延する可

能性の高い感染症ではないため、費用の助成については、現段階では考えていない。発症予防、重症化予防のために、帯状疱疹ワクチンがあることやその必要性について、普及啓発に努めるとともに、帯状疱疹の症状や治療方法など必要な情報の周知に努める。



釜石市魚市場



# 要支援者の個別計画策定は

## 課題は山積している

**議員** 令和3年通常国会に

「災害対策基本法等の一部を改正する法律」案の提出が予定されている。成立すれば、自ら避難することが困難な方々の避難の実効性確保に向けて、地方公共団体に対し個別避難計画の作成について努力義務が盛り込まれるなど、取組への充実が求められるが。

**保健福祉部長** 避難行動要

支援者は、災害時に配慮を必要とする要配慮者のうち、自ら避難することが困難であり避難をするうえで、特に支援を必要とする方を対象としており、当市の登録

者数は359名である。

避難行動要支援者登録者には、災害が発生した際や災害が発生する可能性が高まった際に、避難支援を速やかに実施することができよう、個人の事情や地域の特性などを考慮した避難計画をあらかじめ作成する「個別計画」の策定が求められている。

**議員** 個別避難計画の策定

は、要配慮者の避難の実効性を確保するための支援人材が不可欠であることから、極めて困難な作業になることが予測される。自らの身体に危険が及ぶことを承知

のうえで、要支援者を引き受けるには、相応の決意と覚悟も求められるが、果たして個別計画の策定は進むのか。

**保健福祉部長** 当市で個別

計画が完了している地区は、栗橋地区と小川地区の一部48人で、策定率は約13%である。通常国会で「災害対策基本法等の一部を改正する法律」案が成立した場合には、避難行動要支援者の個別計画の策定に対して、新たな地方交付税措置を講じ、モデル事業の実施や専門家の派遣等を行って避難の実効性の確保に向けた取

組を強化することとされている。しかし、人命に関わるため、地域の中で支援者を確保することは、非常に困難な状況であるとともに支援者は、自身や家族の安全を確保したうえで、登録者の避難支援を行うことになっ

「一度逃げたら戻らない、戻らせない」という行動とは異なるものになっている。また、個別計画の策定には、津波浸水区域、土砂災害危険区域など、被害に応じた避難方法や、日中や夜間における支援者の設定を行う必要がある、課題は山積している。



身体障害者福祉避難所  
(身体障害者福祉センター)

山崎 長 栄

(公明党)

### 質問項目

- ・施政方針演述について
- ・災害時の避難について
- ・福祉避難所について
- ・移住・定住の促進策について





磯崎 翔太  
(創政会)

### 質問項目

- ・教育行政方針演述について
- ・子育て支援施策について
- ・東日本大震災復旧・復興事業について

## 子ども医療費助成の対象範囲拡充は

### 公園・広場の再整備

## 対象範囲の段階的拡充について検討

**議員** 昨年8月から、未就

学児童の保険診療に係る医療費が無償となった。子どもに万が一のことが起きた場合に医療機関を受診させることは、保護者として当然の務めである。一方で、健康保持の努力や注意を怠りがちになったり、医療サービスの過度な利用となるなどモラルハザードの発生が懸念されるが当市の現状は。また、助成の対象範囲の拡充は現実的か。

**市長** 医療費の無償化に伴う健康管理意識の低下事例は、これまでにない。受診件数は増加しているが、無

償化に伴うものか判断できていない。当市が保険者である国民健康保険における無償化後の未就学児童重複多受診者はいないため、他の医療保険も同様と推察している。子育て支援施策に力を入れ、「金石市すこやか子育て基金条例」を議案として提出し、今後の子育てにおけるニーズに応える体制づくりや事業展開を図っていくことから、医療費助成の対象範囲の段階的拡充について検討していく。

### 教育行政方針演述

**議員** 令和4年度から学校運営協議会を各校に設置し、保護者や地域との連携・協働による学校経営を目指すことになるが設置方針は。

**教育長** 現在は各学校長の推薦によって委嘱された学校評議員が学校運営等に意見を述べている。令和4年度以降はこの制度を廃止し、学校運営協議会に発展させたい。校長作成の基本方針の承認や、学校運営、教職員の任用について意見を述べるなど評議員の権限から一歩踏み込むことになる。

**議員** 復旧・復興事業で休止していた公園の復旧状況と鈴子広場の整備方針は。

**建設部長** 平田公園は一般に開放している。大天場公園は復旧工事を進めており、水海公園は土砂の仮置場と

して使用している。他の4公園は地域に周知し開放しており、遊具やトイレ等を必要に応じて計画的に整備する。鈴子広場については、子育て世代や子どもたちの意見を反映し、整備工事を新年度実施することで、係る費用を当初予算案に計上している。



再整備される鈴子広場



# 復興公営住宅家賃が負担な世帯は

## 市独自の減免制度への個別相談を

**議員** 入居5年後から家賃が増額となるが課題と対策は。

**建設部長**

6年目から段階的に本来の家賃に近づき、11年目に本来の家賃になる。

一方、収入が低く家賃支払いが負担となる世帯は、市独自の減免制度の対象となる場合もあり、個別相談の体制をとっている。

**議員** 入居者の収入超過者家賃の課題と対策は。

**建設部長** 入居から3年が経過した場合、収入基準を超える世帯は近傍同種家賃が適用され、家賃が割増されることから、家賃の上限

を1LDKと2LDKで7万1500円、2LDKと3DKで7万7400円とし、近傍同種家賃との差額を減免して、高額家賃対策を行っている。

**議員** 高齢者単身世帯の増加状況とその対策は。

**保健福祉部長** 高齢者単身世帯は4150世帯であり、平成27年と比較して427世帯が増加しており、共に

支え助けあう活動が必要である。今後も、多様な主体の活動が地域で活発に展開されるよう支援をする。

**議員** 孤立死の対策は。

**議員** 孤立死の対策は。

**議員** 孤立死の対策は。

**市民生活部長** 孤立が心配される方には閉じこもり予防や他者との交流を図ることで孤立の防止を講じる。

さらには、見守りネットワークも強化・充実を図る。

**議員** 空き家の増加状況とその管理対策は。

**市民生活部長** 平成28年度調査では831戸、令和2年3月末は983戸で152戸増加した。年々増加する空き家への迅速な対応が求められることから、1名の専任職員を採用し、空き家の適正管理推進に努める。

**議員** 地域会議の現状と課題及び今後の展望は。

**議員** 地域会議の現状と課題及び今後の展望は。

**議員** 地域会議の現状と課題及び今後の展望は。

**議員** 地域会議の現状と課題及び今後の展望は。

**議員** 地域会議の現状と課題及び今後の展望は。

**議員** 地域会議の現状と課題及び今後の展望は。

**市長** 少子高齢化により地域活動の担い手のますますの不足が見込まれることから「全市民参加でつくるまち」、協働によるまちづくりの推進は、自助、共助、公助による地域づくりを一層推進する必要がある、その中心が応援センター及び地域会議と認識している。

**議員** 地域会議役員の位置付けは。

**市民生活部長** 生活応援センターは地域と行政のつながり役であり、地域会議自体は、住民を主体とした独立した機関として、各地域会議規約により位置付けをされている。



市内の復興公営住宅

菊池秀明

(令和クラブ)

### 質問項目

- ・人口減少と少子高齢化の問題について
- ・復興公営住宅の家賃について
- ・地域会議について





野田 忠幸

(21世紀の会)

## 質問項目

- ・新市庁舎建設に関して
- ・認知症対策について

## 新市庁舎建設工事は地元企業優先を

## 市内への経済波及効果が課題と認識

**議員** 新市庁舎の入札にあ

たっては、入札制度における競争性を確保しつつ、地元企業を優先する指名を行うことは市として、とってしかるべき施策ではないか。

**市長** 当市における公共事業の発注については、関係法令を遵守しつつ、地元企業への優先発注を推進することとしている。

新市庁舎の発注方法に関しては、当市経済への波及効果が重要なポイントの一つであると認識するとともに、契約時点において、いかに公平性を保ちつつ、地域内での作業員や工事資材

を確保できるかが大きな課題だと認識している。

「総合評価落札方式」の導入を検討しており、この方式が諸課題の解決に資するものと考えている。

**議員** 新市庁舎建設に関わる市の「市営建設工事請負契約書の例文」は、改正民法に沿うよう作り直すべきではないか。

**総務企画部長** 改正民法が令和2年4月1日に施行されたことから用語修正に係る修正を行った。

しかし、後日、改正が不十分なものであったことが確認されたことから「岩手

県営建設工事請負契約書例文」を参考として改正作業を進め「釜石市市営建設工事請負契約書の例文」を令和3年2月26日付で改正した。これにより改正民法の

「契約不適合責任」に関する規定の懸念は解消されたものと考えている。

**議員** 認知症の早期発見のために「認知機能検診」と「認知機能精密検査」の費用を市で助成することはできないか。

**保健福祉部長** 「認知症検診」はかかりつけ医の問診等の検査で認知症の疑いがあれば、より専門性の高い

総合評価落札方式…公共工事の入札で価格以外の要素も考慮して受注者を決定する方式。(公共工事の品質確保の促進に関する法律に基づく)

医療機関で「認知機能精密検査」を受けることになる。

全国的には「認知機能検診」の取組みを実施している自治体もあるが、これを実施するには医師会の協力が不可欠であり、検診の必要性や有効性などについて

共通認識を図り、体制を整える必要があることから、まずは医師会や関係機関など十分な協議を重ね、その上で費用の助成などの具体的な内容を検討することになると考えている。



新市庁舎完成イメージ

# 港湾の必要性を市民に周知しては

## 小学校の社会科の副読本に掲載予定

**議員** 港湾があることで釜

石地域、沿岸地域、そして東北に与えるインパクトとメリット、また社会資本としての港湾の必要性和役割を子どもたちに知らせるとともに理解させることが、不足しているのではないかと、港湾関係者や事業者だけでなく、港湾の必要性や役割を市民に周知するスタートを子どもたちの教育から始めてはどうか。

**学校教育課長**

本市としては、小学校の社会科副読本に釜石港を掲載することを国際港湾産業課と確認しながら進めている。

小学校の社会科では大まかに3学年で「身近な地域と市区町村の学習」を主としており、副読本に港湾施設を取り上げることによって、様々な商品が外国や他の地域から運ばれることと釜石港の港湾施設とを関連付けて取り扱うことができ

る。また、小学4年生では「県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して県の様子をとらえ、地理的環境の特色も考え表現すること」が求められており、副読本に釜石港を取り上げることにより、県内の交通網

の発達と商品の流通について、港湾施設と関連付けて取り扱うことができるようになる。さらに、資料として総合的な学習の時間や、社会科見学等での事前学習等活用することができると考えている。

**議員** 日本国内ではコンテナ確保が困難な状況となっており、海運業界では航路再編の動きがあると聞いた。これにより釜石港では、具体的にどのような影響が想定されるか。

**産業振興部次長**

新型コロナウイルスによる釜石港コンテナ航路に与える影響は、

現時点においては運賃高騰が大きな問題となってくるものと考えている。

ケースバイケースであるが、コロナ禍以前の2〜3倍の海上運賃を強いられ、運賃に納得しない荷主は輸出入を行うことができない。また、2〜3倍の運賃を

支払うことで商品への価格転嫁等が行われる可能性も否めないと考えている。

輸入に関してはコンテナ及びコンテナ船のスペースを確保できず、輸入に大きな遅れが生じるケースが始めている状況にある。



公共ふ頭とガントリークレーン

平野弘之

(清和クラブ)

### 質問項目

- 釜石港を取り巻く物流情勢について





細田孝子  
(公明党)

### 質問項目

- ・施政方針演述について
- ・健康福祉行政について
- ・子育て支援について

フォトスクリーナー検査：瞳孔の写真を撮影することで弱視の危険因子である屈折異常や眼位異常を検出する機器を用いた検査のこと。

## 視力検査に機器の導入を

### 医師会と協議し検査体制を検討する

**議員** 視力は誕生から徐々に見え始め、6歳から8歳までに完成すると言われて

方法と実施状況について伺う。

**保健福祉部長** 市が行う3

歳児健康診査では、近視・遠視及び乱視といった強い屈折異常や斜視などの異常がないか、ランドルト環による視力検査を行っている。幼稚園及び保育所等の実施状況としては、鶴住居幼稚園が眼科検診を実施し、眼科医によるフォトスクリーナー検査も行っている。

国は3歳児健康診査をはじめ、幼稚園・保育園における視力検査の実施を法律で義務付け推進しているが、市内保育施設等の視力検査

**議員** 多くの保育施設が視力検査を実施していないの

以外での視力検査は実施していない。

であれば、市の3歳児健康診査による視力検査が重要になると考えるが。

**子ども課長** 今回、視力検査を実施していない事実が分かった。この重要性について幼児教育施設や関係機関と相談しながら検査方法を考えたい。

**議員** 検査方法の精度を高めるため保護者に視力検査の重要性を周知するとともに、機器の導入を検討してはどうか。

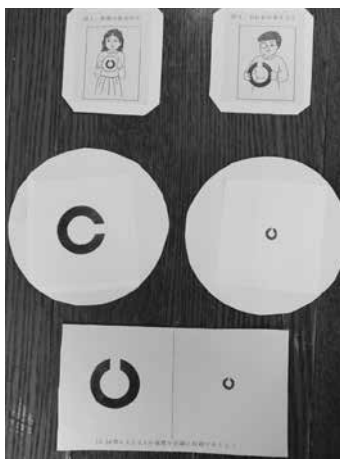
**保健福祉部長** 現在の3歳児健康診査は医療機関による個別健診である。今後、効果的な健診の実施方法に

ついて医師会と協議の上、当市の状況に応じた検査体制を検討していく。

### 電子母子健康手帳

**議員** 安心して子育てできる環境改善のツールとして改めて導入を検討してはいかがか。

**保健福祉部長** これまでも複数業者から提案を受け検討してきたが、様々な意見があり導入に至っていない。今後、母子手帳アプリの利用状況やニーズ、対象者の意見を把握するほか、導入している他市を参考に再度判断したい。



視力検査  
(ランドルト環視標)

# 地域包括ケア充実に資する取組周知は

## 積極的、継続的、重層的に対応する

**議員** OKはまゆりネットは有用な仕組みだが充分な周知が図られているか。

**副市長** 運用主体であるNPO法人が中心となつて周知を図っているが、市独自に広報かまいしに毎年掲載しているほか、地域連携だより及びフェイスブックにおいて運用主体の取組の見える化に努めており、継続的な周知を心がけている。今後もNPO法人の取組に協力すると共に、市としても積極的な周知を図る。

**議員** OKはまゆりネットは有効なシステムだが、周知はどのようにされているか。

**保健福祉部長** 「命のきずなカプセル」は持病やかかりつけ医などの医療情報や薬剤情報提供書、アレルギーや介護に関する情報、診察券及び健康保険証の写しを専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくことで万が一の救急時に備えるものだ。今後は広報かまいしやホームページにより制度の周知徹底を図るとともに、民生委員との連携を密にし、さらなる対象の掘り起こしを図る。

**議員** 健康チャレンジポイント事業や介護予防は健康寿命の延伸等に効果のある事業だが、周知や加入者増加への方策は。

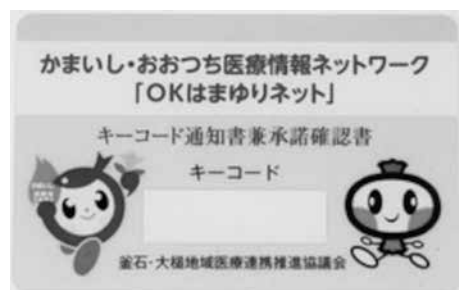
**保健福祉部長** この事業は市民一人ひとりが健康づくりに楽しく、無理せず、継続して取組むことで、自分の健康は自分で守ることを目的としている。年齢に関わらず、健康に興味・関心を持ち、正しい健康行動をとることが必要だ。地域や職場等身近な仲間同士での参加を促すよう、事業の普及啓発に努める。

**議員** OKはまゆりネット

カード、命のきずなカプセル、健康チャレンジポイントの3事業の組合せによる事業展開ができれば地域包括ケアシステムの医療分野に有効なシステムになると考えるが。

**副市長** 3事業を住民に普及させることは、本人や家族であっても説明が難しい

診療情報や服薬情報等を必要な機関に必要なタイミングでの確に伝えられるメリットがある。結果として、支え手となる介護、福祉、消防を含む行政機関等の連携を図ることや、慢性的な人材不足が伝えられている医療・介護従事者の負担軽減につながると思われる。



OKはまゆりネットカード

OKはまゆりネット…釜石市と大槌町の医療機関、介護事業所、地域包括支援センターなどが加盟している医療情報ネットワークのこと。診療情報や介護関連情報などを関係機関で共有し、円滑な医療・介護サービスの提供や、重複投薬や重複検査を省くことなどが期待できる。

古川 愛明  
(創政会)

### 質問項目

- ・地域包括ケアシステム、医療について
- ・復興まちづくりについて
- ・産業振興行政について





高橋 松一

## 質問項目

- ・高齢化社会対策について
- ・復興まちづくりについて
- ・水産行政について
- ・釜石市建築系公共施設等個別施設管理計画について

## 百歳時代、市民の生活不安の解消策は

### 市有地の利活用

## きめ細かな支援を続けていく

**議員** 人生100歳時代を迎え、東日本大震災に遭われた地方・過疎地域住民の生活不安解消策と行政の職員体制を強化すべきでは。

**保健福祉部長** 被災者の

方々の生活は家賃や住宅ローンの支払い発生、医療費・介護保険利用料の限定免除等により今後新たな家計負担が増える。また、新型コロナウイルスの影響を受け、生活困窮世帯の増加が見込まれる。生活困窮者自立支援法による関係事業により分野を超えた支援体制を整えているが、新しい生活環境の中で、相談相手

や相談先が分からず悩んでいる方もいると思う。さらに、町内会・自治会・民生

委員などと情報を共有するなど関係機関との連携を強化し生活の困り事を抱える世帯の不安を解決し、安定した生活ができるようきめ細かな支援を続けていく。

### 復興まちづくり

**議員** 東日本大震災からの

復旧・復興後のまちづくりのため、多くの学識経験者・知識人のアドバイスを得ながら事業を進めてきたと思う。フロントプロジェ

クト2等の土地の件も含め、いくつか地域との見解に違いがあったとのことだが、今後の対応は。

**市長** フロントプロジェク

ト2は有識者の意見も取り入れた新しい市庁舎の整備を中心としたまちづくりの計画だった。しかし、被災者の生活再建を最優先に用地交渉を進めたことから、計画した用地を全て取得できなかった。なお、庁舎建設関連用地として取得した土地の具体的な活用方法は今後、現庁舎敷地と併せて地域の皆様から意見を伺いながら検討していく。

**議員** 震災復興も含め市内に広大な市有地が生まれたが、簡単な売却以外の大きな活用方法は。

**総務企画部長** 庁内の土地建物利用検討委員会で復興

事業で取得した用地を含め遊休地の状況を把握しつつ、他用途への転用や利活用の検討を行う。行政として使用目的・使用見込みがないときは産業用地や住宅用地として公募で売却し、収入の確保に努める。



空地が目立つ復興地区

# 長引くコロナ禍、学生支援が必要だ

## 学生支援事業を当初予算に計上

**議員** 新型コロナウイルス

感染症の発症から1年が経過する。飲食業・サービス業の休業で大きな影響を受け、中退や休学した学生が

去年4月から12月まで58

00人もいたとの文科省の

報告がある。当市での事例

はなかったか。また都市部

では生活困窮となった学生

支援のため食料の無料配布

などの活動が行われている。

当市でも第2弾の学生エー

ル便が必要と考えるが。

**市長** 昨年5月のアンケート

調査によると、学業を断

念したという事例は承知し

ていないが、様々な課題が

挙げられている。学生エー

ル便は学生支援だけでなく

市内事業者への支援も同時

に行おうとするもので、今

年度の当初予算に計上する。

### 庁内のデジタル化

**議員** 第4次行政改革大綱

による庁内のデジタル化は、

住民サービスの向上とある

が、まだデジタル化に対応

できない市民へは。

**総務企画部長** デジタル化

は、行政全般に有益な成果

をもたらす。機械の操作や

手続きに困難が想定される

方々に配慮、丁寧な説明を

常に意識し不安の解消に努

めながら取り組む。デジタ

ル化のみに手段を限定せず

複数の手段を用意し対応出

来ない方々の利便性向上を

目指す。

**議員** 3月から健康保険証

のマイナンバーカード利用

がスタートするが。

**総務企画部長** マイナン

バーカードから保険証を読

み取る機器の県内医療機関

の導入申請状況は、本年2

月21日現在、病院63%、医

科診療所26%、歯科診療所

37%、薬局41%と報告され

ている。この機器は各医療

機関が任意に申し込むこと

になっているので市内の医療機関における個別の申込み状況は把握していない。

**議員** 手話奉仕員の養成に

は2年の受講が必要とされ

ているが、令和2年度は感

染防止のため行われなかつ

た。コロナ禍だからこそ聴

覚障がい者は不安に感じて

いたと思う。リモートでの研修も考えられるが。

**保健福祉部長** リモートで

の手話表現の読み取りは難

しいため、手話奉仕員養成

研修には馴染まないと考え

る。今後は感染対策を実施

した上で研修を行っていく。



釜石市庁舎

深澤秋子

### 質問項目

- ・学生支援について
- ・行政のデジタル化について
- ・障がい福祉について



# 議

# 案

# 審

# 議

## コロナワクチン 予防接種事業

**問** コロナワクチンの接種時期や接種場所などは今後確定するが、へき地等で移動手段の乏しい高齢者の支援策は。

**答** 接種時期や接種場所が決まり次第、関係者と協議し移動手段を確保したい。

## 子育て基金条例

**問** 子育て世代のニーズに応えられるように基金を活用したいとのことであるが、現時点で充当を検討している事業は。

**答** 補助事業が充当されている市単独事業に充当することを想定している。

新年度は、民間団体等が実施している自然遊びを支援する心豊かな子ども育成事業に充当できればと考えている。

## 根浜海岸管理条例

**問** 砂浜部分について釜石市が管理することと示されているが第三条にある住民との協働とは具体的にどういうことか。

**答** 砂浜の日常管理が市に一部移管される。この管理とは市だけでなく地域の皆様とともに清掃やPRをしていくという意味だ。

**問** 砂浜に隣接しているトイレと水道使用の利便性について市の考えは。

**答** 利用者の窓口である市が県と調整する。

## 土地開発公社解散

**問** 震災後のまちづくりを見据えた土地の活用状況がまだ見えてこない中で、大事な公共用地の先行取得ができなくなる。震災に遭った市民を中心に不安がものすごく大きい。

**答** この条例ができた時代は土地の先行取得が盛んで地価が高騰した混乱の時で、さらに議決も不要だった。現在はまだ土地の利活用の計画もなく、今後は多くの意見を取り入れた議決を経て執行したい。

## 小佐野コミュニティーセンター

**問** 小佐野地区コミュニティセンター等土地購入事業費4億円が減額補正

となっているが、その理由とは。

**答** 令和2年度内に購入する予定で10月臨時議会に予算計上したが、地権者側が地歴調査した結果、旧小佐野中学校理科室付近で化学薬品を保管、使用した経緯があることから、土地全般を調査し万全を期した上で契約締結したいとの意向を受け、減額補正した。

## 新型コロナウイルス対策

**問** 新型コロナウイルス感染症により、影響を受けているタクシー・運転代行業者を支援するため、利用券発行等の事業を委託するとあるが、利用者との程度見込んでいるのか。

**答** 支援については、プレミアム率50%のタクシー券、運転代行共通のチケットを考えている。500円券6枚つづり3千円のを2千円で販売し、500冊作成したい。

**問** 人口の多い地域と小規模な町では緊急事態宣言が解除されても経済の回復力が違う。経済支援する際は当市の事情や背景を考慮して行うべきではないか。

**答** 今回は業種や事業規模を絞って、売り上げの30%・40%・50%減を対象に行ったが、今後は努力した点も勘案した制度設計としたい。

# 予 算 特 別 委 員 会

## 一般会計204億8700万円 全員が賛成で可決

予算特別委員会は議員全員で構成し、委員長に古川愛明委員、副委員長に川嶋昭司委員を選出し、3月15日から4日間にわたり、一般会計予算のほか各特別会計予算及び関係議案の計12件の審査を行いました。

一般会計の歳出では、昨年度までの復旧・復興予算編成から通常予算編成へ戻る初年度となります。定住移住促進、都市公園復旧、医師確保対策、新型コロナウイルス感染症対策など各種事業が計上されています。

令和3年度一般会計予算は、審査経過報告の後、原案の採決を行い、全員が賛成で可決となりました。

このほか、予算特別委員会に付託された議案は、すべて原案のとおり可決しました。

### 釜石コンパス 負担金等

**問** 釜石コンパス実行委員会負担金の構成団体・事業内容・積算根拠・財源の内訳は。

**答** 構成団体は、市が事務局となり、地域の民間企業等で構成されており、高校生の地域のキャリア教育に取り組んでいる。積算根拠はプログラムに参加された講師への報償費、事務局の旅費、人件費等で、財源の内訳は、寄附を集めた経緯があり、その寄附で概ね事業の推進に充てている。

### 洪水・土砂災害 ハザードマップ

**問** この事業は東部地区10地区とのことだがどこか、またその理由は。

**答** 令和2年度内に新型コロナウイルス感染症の影響で作成できなかった只越町から新浜町までの10地区である。

**問** 県は甲子川、鶴住居川、小川川の洪水による浸水想定を公表したが、これに伴う市の対応は。

**答** 総合的なハザードマップ作成に取り組んでいる。この中で進めたい。

### テレビ難視聴地域

**問** 難視聴地域への市の考えは。

**答** 現在、難視聴地域の市民がテレビを見ることが出来なくなることが想定していない。仮にそういう事態が発生した場合において、現時点では明確な答えはできないが、市としても当然必要な対策を講じなければならぬと考えている。

### 東日本大震災 犠牲者追悼式

**問** 令和3年度の追悼式の予算は計上されているが、今後の式典の考え方について伺う。

**答** 政府主催の追悼式は、今年度をもって終了とすることがすでに示されている。

市の追悼式については、震災で亡くなられた方々に、鎮魂の祈りをささげて後世に伝えることを考え、開催規模を勘案し、今後も続けていきたい。

### 子どもを守る地域 ネットワーク

**問** システム導入により課題はどのように改善されるのか。

**答** 職員の業務課題として、「相談者と対話しながらメモを取るのとはどちらにも集中できない。その後聴き取りした内容をもとに資料作成することに時間

がかかる」との声が上がっていた。今回導入するAIは、会話内容を文字に起こし資料作成まで行う。導入によって相談者との対話に集中出来るなど業務改善に繋がると考えている。

### 児童遊園維持管理

**問** 児童遊園や公園の適正な統廃合と整備について当局の考えは。また、鈴子広場の整備を今後、計画しているが鈴子児童遊園の必要性についてどのように考えているか。

**答** 子育て支援検討委員会と統廃合について検討している。限られた維持管理費のなかで統廃合を進める。施設や器具の老朽化を見極めながら安全性を確保した上で適正に管理していく。





# 予算特別委員会

## 成年後見センター

**問** 認知症高齢者や独居高齢者の生活を考えると、成年後見制度のニーズは大きい。制度利用状況と今後の課題は。

**答** 現在の制度利用状況は、後見人が94名、保佐人が8名、補助人が3名である。

今後、成年後見人の育成が求められていることから、制度の啓蒙と市民レベルの人材育成が急務である。

## 医師確保対策

**問** 岩手県に拠出している市町村医師養成事業負担金によって、県立釜石病院にどのような医師が何名ほど配属されるのか。

**答** 新年度は2年間の臨床研修を終了した計4名の医師が配属されている。

沿岸地域と県北地域への医師配属を重点的に行うように県の補助金の内容が改訂されたので、例年よりも配属医師数が増加したものと考える。

**問** 県立釜石病院では内科の縮小に続いて、今回、分娩の取り扱い休止が新聞に掲載された。人口減少対策が喫緊の課題であるが、企業誘致や移住定住の政策を重点に置いている第六次総合計画に逆行している現状をどう捉えるか。

**答** 移住定住政策に悪い影響が出ないよう努力したい。当市でできる行政サービスは全力で取り組みたい。

## 魚市場補助金 漁業就業者育成

**問** 魚市場水揚げ増強対策事業補助金と漁業就業者育成支援金について、昨年度予算と比較すると削減されているが、減額の理由は。

**答** 魚市場水揚げ増強対策事業については、令和2年度の予算編成に先立ち水産関係者との協議の中でスタッフ増強の目途がたつた後に予算計上すべきとのこと。今回は見送ったため、減額となった。育成支援金減額については、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい。

## 市民農園

**問** この農園の開設目的と施設内容は。初心者にはフォローが必要だが、農業振興コーディネーターの活用は。

**答** 土に接し収穫の喜びを体験する目的から甲子町大畑地区に、一区画、3m四方で42区画を整備し、仮設トイレや水道、鳥獣対策で電気柵の整備をする予定である。また、初心者には、農業振興コーディネーターからの指導を要請する。

## 新型コロナウイルス クーポン

**問** 前回の反省をどのように取組に反映させるのか。

**答** 今回は、共通商品券と食事券のセットとし、割合も見直すなど、利便性を図りたい。また、プレミアム率を下げ発行部数を増やし、より多くの方々に購入、利用していただけるような支援策としていきたい。具体的には、額面7千円を5千円で販売し、利用期間も6ヶ月程を想定している。

釜石市議会では、本会議等のインターネットライブ及び録画配信を行っております。  
釜石市議会YouTube（ユーチューブ）チャンネル

検索

釜石市議会 youtube

スマートフォンの方はこちら→



## 公園復旧整備

**問** 仮設住宅があった公園で野田中央公園、野田西公園、向定内公園のトイレが封鎖や撤去をされて使えない理由は。また定内公園のトイレを和式から洋式に換える要望の扱いは。

**答** トイレを長期間使用禁止にしたため傷みがあるので使えるよう準備を進める。水洗化、バリアフリー化は本復旧工事の中で対応していきたい。大只越公園、向定内公園は令和5年に整備を計画している。

## 消防団

**問** 環境の激変により、災害が多発している。

昼夜分かつ活動している団員のため、国では手当を増額する方針だが、当市での対応は。

**答** 現在、機能別団員76名を加え、582名の団員が活動している。令和2年度から新入団員確保のためと、階級の低い方から若干上げていく。国の動きを見定めながら今後も対応する。

## 鶴住居復興スタジアム

**問** 本県にはJ3に所属するプロサッカーチームがある。スタジアムの有効的な活用を推進するにあたり、ホームゲーム開催を実施するための条件は整っているか。

**答** 同スタジアムはJリーグの試合開催規格を満たしていないため、試合は行えない。その一方で、当市は内陸と比較して降雪が少なく、冬季の合宿や練習試合はできると考えており、働きかけをしたい。

**問** 若者が集う取組が重要と思うが市の考えは。

**答** スタジアム運営委員会には、若い世代の方々を含め、幅広い年代の方々が参画し、スタジアムの運営を協議している。

令和3年にスタジアム全体の運営計画を策定する手順の中で、若者が集う取組も含め幅広い年代の方々の考えをくみ上げていきたいと考えている。

## 学校給食

**問** 1億円強の予算が計上されているが、地元

食材の取扱い状況は。

**答** 基本的には当市の物品購入等競争入札参加資格者名簿に登録されている事業者から購入している。

地元食材の活用という観点から、橋野や甲子の産直からも仕入れているほか、令和2年度から試行的に釜

石産の米を生産者から購入した。新年度も引き続き実施したいと考えている。

## 学校生活管理指導票

**問** 新年度の指導票提出者は何名になるのか。

**答** 新年度は81名が提出することになっている。限定した理由は、新規事業として実施するにあたり、優先すべきは就学援助を必要としている要保護・準要保護児童と考えたため。

**問** 対象者全員の助成を検討してもいいのでは。

**答** 今後、財政課と協議しながら進めたい。

## 成人のつどい

**問** 新成人の方々が、思い出に残る内容なのか疑問に思う。

**答** 新成人の方々が、思い出に残る内容なのか疑問に思う。

運営の出身について、考える必要があると思うが。

**問** ここ数年70万円程度の予算規模で運営している。行政が主催する形で、

恩師のビデオメッセージの他、虎舞など新成人に参画していただきマンネリ化しない形に努めている。

令和3年度は新成人が企画する実行委員会形式への移行を視野に入れ、取り組んでいきたい。





## 常任委員会活動報告

### 経 済

令和3年2月8日に、釜石・大槌地域産業育成センターにおいて次の内容で視察を行いました。

同センターは企業ニーズに基づき、新商品・新技術の開発支援や、人材育成事業、情報提供事業など地域産業活性化への取組を行っている公益財団法人です。

具体的には、市の補助事業である「地域資源活用推進事業」の一つとして市の花「はまゆり」から採取した酵母を活用した特産物の開発や、甲子柿、菊芋等の地域特産品の商品化を進めています。

さらには「6次化研究会」を立ち上げ、顧客のニーズをくみ取った商品開発・マーケットインの勉強会を開催しており、「生産者の製造力・販売力・経営力を上げる」として地域振興を図るそのプラットフォームとなるのが育成センターの役割」としています。

続いて「海洋再生可能エネルギー事業化プロジェクト」について、専門のコーディネーターより、波力発電システムとそれを地域産業に活用するロードマップ、カーボンニュートラルについて説明を受けました。

プロジェクトには地元企業の参画も決まり、今後の展開が期待されるところでした。



委員長挨拶



視察の様子

## 議会改革特別委員会

【令和3年1月26日】

議会改革特別委員会はタブレット研修会を実施しました。

これは地方議会における本会議でのタブレット導入、ペーパーレスによる環境負荷低減や製本コスト削減等を目的として行い、導入時の利点や課題を検証、共有しました。

具体的なメリットとして「市民に会議資料を直接見てもらいながら説明することができるようになること」、「災害時の情報伝達手段が増えること」等があり、デメリットとして「機器故障や紛失時に全データが見られなくなる」と、「毎日タブレットを見る習慣をつけなくてはならないこと」等を確認しました。

今後これらを考慮しながらタブレットの導入について検討を重ねることとしました。

また「(仮称)市民の声を聞く会」については継続して開催すべきとの結論に至りました。



【令和3年3月25日】

議会改革特別委員会が開催され、この委員会では、

- (1) 前回の理事会の概要
- (2) タブレットの導入
- (3) ロードマップの修正
- (4) (仮称)市民の声を聞く会の開催
- (5) 議会基本条例の考え方

について委員長から説明を行った後に、委員から質問、意見を聞き、議会改革特別委員会としての方向性を決定しました。

特に今回の「(仮称)市民の声を聞く会」は相手方を市内各地区、地域会議議長8名とすることを決定しました。

将来的に市民と語る会の開催方法、運営方法、委員を含めた出席対象者数等、感染症の状況に配慮しながら検討を進め発展させることを確認しました。

タブレット導入の効果については、市民サービスの向上やリモート会議、SDGsへの対応等が可能になることを改めて確認しました。

議会基本条例については理事から、反問権、一問一答、政策評価の導入を視野に入れてはどうかとの発言があり県内の自治体の議会基本条例を参考にしながら着実に進めることを確認しました。

# 議 員 全 員 協 議 会

【令和3年1月20日開催】

5項目について、それぞれ内容の説明を受け、質疑を行いました。

1. 釜石市新庁舎建設について

日本海溝・千島海溝沿いの最大クラスの津波による浸水想定シミュレーションについて、計画地における浸水状況の詳細が把握できたことから、その対策を考慮した新庁舎建設計画の変更案が示されました。

2. 第1期釜石市地域福祉計画について

地域での課題解決力の強化、地域や福祉を我が事に変える意識づくり、多様な交流の促進と拠点づくり、担い手づくり、相談支援体制の構築・強化、権利擁護に関する取り組みの充実及び安全に安心して暮らせる環境づくりの7つの基本目標が示されました。

3. 第6期釜石市障がい福祉計画（第2期釜石市障がい児福祉計画）について

施設入所者の地域への移行、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築、地域生活支援拠点等が有する機能の充実、福祉施設での就労から一般就労への移行、障がい児支援の提供体制の整備、相談支援体制の充実強化等及び障がい福祉サービス等の質を向上させるための取り組みの6つの施策が示されました。

4. 釜石市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画について

「あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち」を計画の基本理念に掲げて、地域包括ケア体制の充実、安心できる生活の実現、健康で生きがいのある生活の充実及び介護保険事業の円滑な運営と専門性の向上の4つの基本施策が示されました。

5. 釜石市幼児教育振興プランについて

「地域と人とのつながりの中でみんなが育つまち」を計画の基本理念に掲げて、幼児教育施設における教育内容の充実、家庭や地域との連携強化及び幼児教育施設と小学校との連携強化の3つを基本目標が示されました。

当局からの説明に対して、各議員から建設的な質問や意見が交わされ、各施策への内容理解が進み、深みのある充実した審議となりました。

【令和3年2月16日開催】

5項目について、それぞれ内容の説明を受け、質疑を行いました。

1. 第4次釜石市行政改革大綱について

これまでの行政改革を踏まえ新たに、市政の現状と課題を基本方針に沿って進めるもので、職員の働き方改革や庁内業務のデジタル化の促進等があり、市民へのサービスを安定的かつ持続的に構築するための行政経営について説明がされました。

2. 釜石市建築系公共施設等個別施設管理計画について

既に策定されている「釜石市公共施設等総合管理計画」を具現化するために施設分類ごと、個別施設ごとの維持管理・更新の適正化を進めることが示されました。

3. 釜石地域公共交通計画について

同計画は、昨年11月27日の議員全員協議会でも協議を行いました。当局が目指す地域公共交通の基本理念を定め、その実現に向けての方向性について、パブリックコメント等を踏まえ地域公共交通活性化協議会で審議し新しい計画を策定するとの説明がありました。

4. 地方卸売市場釜石魚市場経営戦略について

国の要請に基づき、釜石市魚市場の経営の健全化を維持し将来にわたって市場機能を安定的に継続するために策定されるものです。当局からは、関係機関と繰り返し意見交換を行い、市全体で水産業の活力再生に向け動いていきたいとの方向性が示されました。

5. 釜石市多文化共生推進プランについて

同プランは、訪日外国人や市内在住外国人の多様なニーズ・困りごとの解決に向け、市民と外国人が共に文化的違いを認め合い生活できるまちづくりを進めるため、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めていくために策定するものと説明がありました。

当局から示された5項目は、今後5年間の計画策定についてであり当局が抱える多くの課題でもあります。議員からは質問意見等多岐にわたって出され、特に釜石魚市場の現状については、当局の主要産業の1つでもある水産業の衰退を危惧し、かつて県内屈指の水産都市を知る市民のじくじたる思いを代弁した発言がありました。



# 議会の動き

## 請願

■安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書

### 継続審査

※民生常任委員会に付託しましたが、継続して審査することとなりました。

■加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める請願書

### 継続審査

※民生常任委員会に付託しましたが、継続して審査することとなりました。

## 陳情

■女川原発再稼働を認める宮城県決議への反対表明を求める陳情書

### 報告

■国立病院の機能強化を求める陳情書

### 報告

1月.....

20・議員全員協議会  
26・議会改革特別委員会  
(研修会・総会)

・経済常任委員会  
(視察について)

27・会派代表者協議会

2月.....

5・議会改革特別委員会  
8・経済常任委員会  
(※釜石・大槌地域産業育成センター)

・会派代表者協議会  
9・議会運営委員会  
16・議員全員協議会  
17・議会運営委員会  
17・会派代表者協議会  
17・市政調査会幹事会  
19・議会運営委員会  
26・議会運営委員会

3月.....

1・3月定例会(～3月18日)

・議会だより編集特別委員会  
5・会派代表者協議会  
・コロナ対策会議  
10・会派代表者協議会  
・総務常任委員会  
・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

・経済常任委員会  
(継続調査について)

釜石市議会だよりでは、表紙に掲載する写真を募集しております。

市内の風景・イベントなど募集しておりますので**どんどん**ご応募ください。

★応募先

[#を@に](mailto:gikaijimu#city.kamaishi.iwate.jp)

応募要項  
と詳細は→



あ  
と  
が  
き

▼3月に入り暖かくなると2輪の福寿草が咲く場所があり、今年も可愛らしくお出ましとなり春の訪れを告げてくれました。▼議会期間中には、3・11の追悼式があり、参加された御遺族の方からの追悼のことばに、深い悲しみとそれでも前を向く気持ちに込み上げてくるものがありました。市政には今後被災者に寄り添う姿勢が求められます。▼この号が発刊の頃には被災地には、さわやかな風が吹く季節となっていました。(深澤 記)

委員長 細田 孝子  
副委員長 磯崎 翔太  
委員 三浦 一泰  
野田 忠幸  
佐々木 聡  
深澤 秋子  
高橋 松一